

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373200472
事業所名	せんねん村グループホームせんりょう・まんりょう

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し、清掃・防災訓練等の地域情報は回覧板を通じて得ている。日々の散歩やゴミ出し、買い物、初詣で、清掃活動には職員ともに利用者も参加し、顔なじみの関係になっている。特養と今まで秋開催のお祭りを春に変更して開催し、多くの地域の人々が参加している。傾聴や看護学校のボランティアの訪問、市内3中学校の職場体験、実習生の受け入れをしており、幼稚園の子供たちが年2回敬老会やクリスマス時に遊びに来てくれ、園児の様子に利用者の笑顔が見られる。地域の「きらまつり」ではホーム手作りのかりんとうを利用者と販売する等地域とのつながりを大切にしている。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 町内会長、民生委員、市役所長寿課、地域包括支援センター職員、介護相談員などの参加を得て2カ月ごとに特養やデイサービスと合同で会議が開催されている。事業所の事業内容や行事報告、取り組み内容を説明し、部署の取り組みが報告されることもある。毎月訪問の介護相談員より意見や感想が述べられており、提案事項を検討し、ユニット内に写真を掲示し日常の様子が分かるよう改善された。今後「テーマを決めて開催する」ことや「家族参加に向け行事と合わせて開催する」ことを検討したいと考えている。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市担当者とは運営推進会議だけでなく、書類提出や代行申請で、3月には次年度の年間予定のお知らせで訪問し、情報交換やアドバイスをもらっている。地域包括支援センターとは空き状況で連携している。介護相談員を受け入れ、利用者とコミュニケーションを図ってもらったり、都度都度アドバイスや意見をもらいサービス向上に活かしている。今年度は予定が合わず市主催の研修には参加できなかった。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 面会時やサービス担当者会議、行事等で日常の様子を伝えながら意見や要望を聞いている。家族よりは「満足しています」との意見が多く、ホームからの足元の提案で「靴」を新調してもらったこともある。毎月発行の「せんりょう☆まんりょうの実」では、お一人お一人の様子を職員が書き、その方の暮らしぶりの分かる写真を載せ家族に送付している。今後家族会はないが、行事等を通じて家族の交流も深めていきたいと考えている。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。		○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。		○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		○
総合評価			○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	忍 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	